

## 自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 稲羽西・稲羽東自治会連合会
2. 日 時 平成29年6月1日（木） 19時00分～20時30分
3. 場 所 稲羽コミュニティセンター
4. 出 席 者 自治会長 24名、 市長、 企画総務部長

### <内容>

○連合会長のあいさつ

○市長のあいさつ

○行政の説明

- ・ ひと・くらし・まち ともに「育む」各務原

○テーマ概要

テーマ①：避難場所を稲羽中学校に

テーマ②：防犯カメラの設置

テーマ③：安心、安全な地域づくり

○提言による懇談

テーマ① 避難場所を稲羽中学校に

〈山脇町自治会長〉

山脇町緊急避難場所を稲羽東小学校から稲羽中学校への変更のお願いです。山脇町から一次避難所（稲羽東小学校）へ行くと2キロから3キロかかります。高齢者・子どもたち含めて避難しなくてはなりません。稲羽中学校は近い方であれば100mから300mで避難できます。以前からこのような提言をされていましたが、管理上の都合が悪いからと聞いています。町内会を見まわすと高齢化がかなり進んでいます。この距離を高齢者が移動することは不安です。市民ファーストの考えで避難場所の変更をお願いします。

〈市長〉

まず初めに、各務原市では、小学校区ごとに1カ所ずつ避難所を指定しており、市民はそれぞれの小学校等へ避難することとなっています。

ただ、稲羽西小学校区の中で、新境川より東側の自治会については、災害によって橋が損傷し、新境川を渡れなくなる危険性があることから、稲羽中学校に避難をしていただく計画となっています。

従いまして、稲羽地区につきましては、例外的に、稲羽西小学校、稲羽東小学校、稲羽中学校の3カ所の避難所が指定されていることになっています。

もともとの計画では、山脇町自治会におかれましては、稲羽東小学校が避難所となっていますが、ご提言のとおり、稲羽中学校が最寄りの避難所となっています。円滑で安全な避難という観点から、より近い距離にある避難所へ避難するということは合理的かと思いますので、山脇町自治会の避難先を、稲羽東小学校から稲羽中学校へ変更することは可能かと考えます。

しかし、避難所の変更については、自治会内のすべての方々にとって重要なことですので、自治会内で皆様の合意をお取りいただき、自治会の総意という形でご要望をいただきたいと思えます。また、避難所が変更になった場合は、自治会内の皆様にご周知をいただくことも併せてお願いいたします。そこで、まず自治会内で話をされる前に、事前にポイント等を防災対策課に相談されることをお願いします。

避難所運営の中心的役割、それから、行政と避難者のパイプ役になっていただく目的で、避難者の代表として自治会長お一人に避難所の副所長に就任していただいております。稲羽中学校におきましても、避難される自治会長様の中から、副所長の就任をお願いさせていただきたいと考えますので、ご協力を宜しくお願いします。

## テーマ② 防犯カメラの設置

〈三井町第2自治会長〉

見守り隊や地域の目でだけでは、子どもの安全を確保することはできません。より一層の、通学の安全を見守るために防犯カメラの設置を提言します。

朝の通学は見守り隊と一緒に登校することで一応の安全が確保されています。しかし、下校時間は学年ごとに異なり、見守り隊だけでサポートすることはできません。子どもたちの登下校の安全を見守るために必要です。

また、稲羽地区はここ数年、頻繁に空き巣被害に遭い、住民は不安な日々を送っています。空き巣犯は侵入する家の下見を何度も繰り返すと言われます。

地域安全ニュースの資料に掲載されているように、窃盗犯罪・侵入犯罪は稲羽地区での発生が平成28年中に170件もの空き巣被害が報告されています。

また、稲羽本通りには防犯カメラを設置しているコンビニエンスストアがありません。防犯カメラを設置することで抑止力となり、犯人逮捕の一助となります。

最初に、春日橋西交差点、大野町交差点（熊野神社入口交差点）、小佐野町5丁目交差点の3カ所に防犯カメラの設置を要望します。

〈市長〉

テレビなどでも凶悪事件がコンビニなどの防犯カメラの映像が決め手となり犯罪検挙につながったという事例も紹介され、地域における犯罪意識の高まりとともに防犯カメラに対する期待というのも高まってきていると感じています。

前年の自治会まちづくりミーティングにおいても地域における自治会の防犯活動を補完するため、防犯カメラの設置を望む声もいただきました。

防犯カメラに対する犯罪抑止力効果への期待が高まる一方で、録画された人の肖像権やプライバシー権の侵害といった課題もあり、防犯カメラの設置については慎重な判断が必要となります。

また、“防犯カメラ”と言うのは、行政や警察の権力により監視されている“監視カメラ”と捕らえられる現実もあります。

市が交差点、広場、公園などへ防犯カメラを設置し、不特定多数の個人を撮影することで、“監視される”と感じてしまうなどの懸念があるため、市が地域の防犯を目的とした防犯カメラを設置することは考えていません。

市としては、犯罪を防ぐのは防犯カメラではなく、そこに住む地域住民が自分たちのまちを自

分たちで守るという精神のもと、地域ぐるみでの防犯対策が最も効果的であると考えています。

地域ぐるみの防犯活動の中で、地域住民の合意に基づき、自治会による防犯カメラの設置であることが望ましいと考え、自治会における防犯活動を補完するために防犯カメラを設置する場合に対し、その設置に対する補助制度を創設する検討をしているところです。

今年度は、自治会において犯罪の抑止効果や防犯カメラの有効性やプライバシー権との調和を図る適切な運用が可能かどうかの課題を検証するため、モデル事業として1自治会に補助金を交付する予定をしています。

次年度、自治会とともに効果や課題を検証し、平成31年度には自治会における防犯カメラの設置に対する補助制度を創設する予定であります。

〈小佐野町第3自治会長〉

今のカメラ設置場所の提案は、自治会長として初めて聞く話ですので、小佐野町自治会としては町内会に相談して、了解をしてからしか進められないと思います。

テーマ③ 安心、安全な地域づくり

〈上中屋町自治会長〉

稲羽コミュニティセンター周辺の交通安全から見た場合の課題をどうするかを提言します。

子どもたちは、見守り隊の方と一緒に稲羽コミュニティセンターの前を通り、新境川堤防の坂を上り、春日橋を渡って学校に通っています。

最初に、道路白線が消えていてどこを歩いていいかわからない状況。また、堤防道路については平成27年に外側に防御柵を設置していただきましたが、雑草等により道路が狭くなっており、車の規制もなく通学時間でも通勤の車が通って非常に危険を感じています。

そこで、旧稲羽コミュニティセンター前の道路を活用して、ふれあいバスやカルチャスクールを利用されている方々を通し、できるだけ交通量を少なくすることができます。

もう一点ですが、稲羽コミュニティセンターから東の道路。上中屋町から上戸町へ行く農道の水路を活用し、通学路を確保して、横断歩道を設置することで、子どもたちが安心安全に通学できるように検討をお願いします。

〈市長〉

平成27年8月に「各務原市地域公共交通網形成計画」を策定し、ふれあいバスのみでなく鉄道や路線バス等も含めた公共交通ネットワークの形成を図り、OD調査（人が、どこからどのような交通手段を使って移動したかを把握する調査）や住民懇談会等を経て同年10月に「ふれあいバス」のリニューアルを実施しています。

同リニューアル後、平成28年度には市内12ヶ所にて計13回の懇談会を開催し、地域要望等や課題等について対話する機会をつくってきました。

稲羽コミュニティセンターで開催した際に、参加者より「稲羽コミュニティセンター」停留所が施設から一本南側道路にあるため、バスが到着したかわからない、施設に近づけて欲しいといった要望を受けました。

また、平成27年10月の再編以前には、上戸町内にバス停があったが、再編により町内からバス停がなくなったとの話も受けていました。

このような状況もあり、コミュニティセンター前の道路への移設について検討を進めてきまし

た。

昨年度の9月に上中屋町、上戸町での地域合意を形成したとの話を受けたことで改正に向けて動き出しをしました。

具体的には、9月にバス運行事業者との現場確認、警察との現場検証、稲羽西小学校や稲羽中学校への説明を経て、10月には本市公共交通会議に諮り、国土交通省への路線改正の届出を出して現在のルートへの改正に至っています。

昨年度、地域の総意として現行ルートへの改正検討をいただいたところであり、まずは現行ルートで継続していきたいと考えています。

ただし、安全な運行が第一であるため、慎重な運転を運行業者とも徹底しつつ、地域においてお気づきの点があればご連絡をいただきたいと思います。

そして、歩道の設置や確保については、片側歩道であっても現行の幅員9.25メートルが必要となっています。このように歩道の連続性とネットワークがあるかどうかといった点、河川堤防に構造物が設置できるのか、用地が確保されているのか、構造物には予算が必要であるか。河川法上の許可が必要であるかは県と協議が必要となります。

通学路とふれあいバスと路線が重複することによる事故発生の因果関係については、一般車両の方が少し危険度が高いかと思われます。

そこで、市としては路肩部分については、カラー舗装をすることは可能であります。

カラー舗装または、白線の引き直し、雑草の草刈を含めて要望書のご提出をいただければ、できるものから早急に対応していきます。

## ○その他の主な発言

〈上中屋町自治会長〉

航空宇宙科学博物館のリニューアルについてお聞きします。

今年の秋に、愛知県の県営名古屋空港近くに航空博物館ができるとの話を聞きましたが、市としては、どのような戦略をもって小牧市にできる博物館に対応されるのかをお聞きします。

〈市長〉

そちらは愛知県で行う事業になります。当初はMRJ、零戦、YS-11を展示すると報道されていましたが、零戦やMRJは現段階では非常に難しく、YS-11のみになったと聞いています。

各務原市はリニューアルオープン後には岐阜県と共同により、航空分野だけではなく宇宙分野にもよりテコ入れをしていきます。昨年、アメリカのスミソニアン航空宇宙博物館と岐阜県と各務原市と提携して、宇宙に関する資料展示や職員の交流を行う環境を整えました。

岐阜県内の小学校に通う児童については、必ず航空宇宙博物館に社会見学等をしていただけるよう県教育委員会へ働きかけをしています。

施設を通じて、各務原の先人達の努力・情熱があるなか、どのようにして航空宇宙産業が発達してきたのかを見ることによって、子どもたちが夢や目標を抱いてくれるような施設にしたいと考えています。

岐阜工業高校とも連携して、高校生が講師となって、子どもたちに講座をしていただくことも考えています。

また、全国・世界で活躍している方を講師に招き、公開講座をすることなどで、各務原市の航

空宇宙産業の魅力を日本各地及び世界にも発信できるような施設にしていきます。

リニューアルオープンの予定は、来年3月24日となります。入館料については、大人は従前どおりの予定ですが、中学生以下の子どもについては無料と設定させていただき、より多くの方に来場していただけるような施設にしていきます。

〈上中屋町自治会長〉

関連したことでお聞きします。各務原市を訪れた方が、一日かけて市内を見学できるようにしてみてもどうでしょうか。航空宇宙科学博物館を訪れた方に、川崎重工業や岐阜基地の施設内の見学をできるような企画をしてみてもどうでしょうか。

〈市長〉

岐阜基地の見学については、すでに行っている部分もあります。川崎重工については機密事項が多く受け入れが難しい状況にあります。

川崎重工には、航空宇宙博物館オープンに向けての「飛燕」の復元作業をすべて川崎重工の費用で行っていただいております。

自衛隊の岐阜基地においては、各務原飛行場が開設されてから100周年。航空自衛隊が設置されて60周年となります。現存する飛行場では国内最古のものであります。今年度の各務原市シティマラソンのコースとして岐阜基地内を走らせていただく企画も進めています。

○連合会長からまとめのことは

○市長からまとめのことは